

# 5

## 民保の解約・失効の状況

### 解約・失効の経験率とは

2018（平成30）年から本調査実施時点までの期間において、民保の生命保険の解約・失効を経験したことのある世帯数を、全回答世帯数で除した割合のことをいう。なお、解約・失効のなかには、払済保険、延長定期保険、転換制度（下取り制度）の利用を含めない。

民間生命保険の解約・失効について、過去3年間の解約・失効の経験率、解約・失効までの継続期間、解約・失効理由などを尋ねている。

### （1）解約・失効の経験

2018（平成30）年からの3年間ににおける民保（かんぽ生命を除く）の解約・失効の経験率は10.3%（前回9.2%）となっている。（図表I-157）

〈図表 I - 157〉 解約・失効経験率

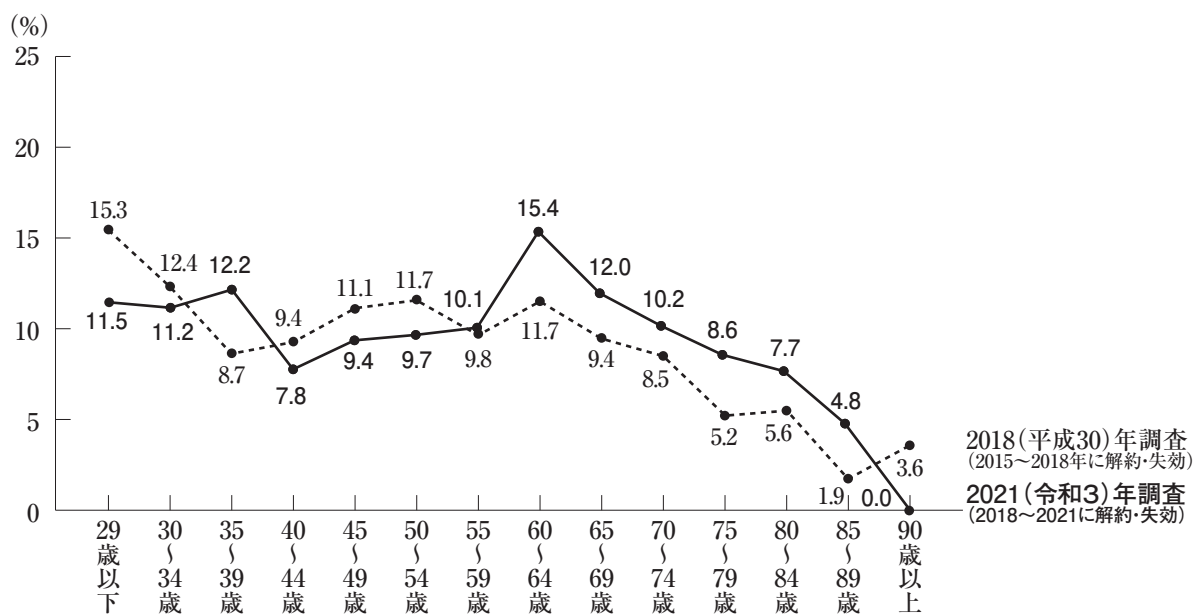
(%)

	あ り				な し	不明
		1 件	2 件	3 件以上		
2021（令和3）年調査 (2018～2021年に解約・失効)	10.3	7.5	2.1	0.8	88.2	1.5
2018（平成30）年調査 (2015～2018年に解約・失効)	9.2	6.9	1.7	0.7	86.8	4.0
2015（平成27）年調査 (2012～2015年に解約・失効)	11.2	7.6	2.6	1.0	87.2	1.6
2012（平成24）年調査 (2009～2012年に解約・失効)	12.4	9.1	2.3	1.0	86.3	1.3
2009（平成21）年調査 (2006～2009年に解約・失効)	13.2	9.2	2.7	1.3	85.1	1.8

\* かんぽ生命を除く

世帯主年齢別にみると、「60～64歳」で15.4%と最も高くなっている。(図表 I - 158)

〈図表 I - 158〉 解約・失効経験率（世帯主年齢別）—経験ありの割合—



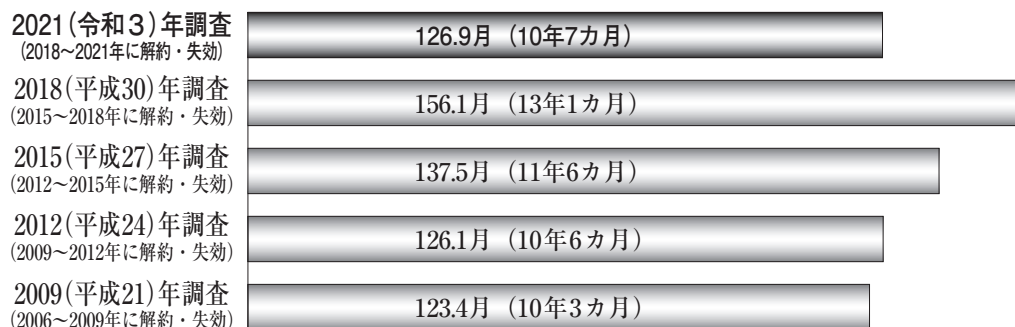
\* かんぼ生命を除く  
\* 90歳以上はサンプルが30未満

## (2) 解約・失効までの継続期間

2018（平成30）年からの3年間における民保（かんぼ生命を除く）の解約・失効までの継続期間は10年7カ月となっている。

時系列で見ると、2009（平成21）年調査（10年3カ月）以降、解約・失効までの期間が長期化していたが2021（令和3）年調査は2018（平成30）年調査（前回調査）と比較して、2年6カ月短くなっている。(図表 I - 159)

〈図表 I - 159〉 解約・失効までの継続期間



\* かんぼ生命を除く

### (3) 解約・失効契約の加入者（被保険者）

2018（平成30）年からの3年間に民保（かんぽ生命を除く）を解約・失効した世帯について、その加入者をみると、「世帯主」70.7%（前回65.9%）、「配偶者」21.8%（前回22.3%）、「子ども（計）」6.3%（前回9.0%）となっている。（図表I-160）

〈図表I-160〉 解約・失効契約の加入者（被保険者）

(%)

	世帯主	配偶者	子ども (計)	子ども (未婚で 就学前・ 就学中)	子ども (未婚で 就学 終了)	子ども (既婚)・ 子どもの 配偶者	その他	不明
2021（令和3）年調査 (2018~2021年に解約・失効)	70.7	21.8	6.3	1.7	3.4	1.2	1.2	0.2
2018（平成30）年調査 (2015~2018年に解約・失効)	65.9	22.3	9.0	2.2	4.6	2.2	2.5	0.3
2015（平成27）年調査 (2012~2015年に解約・失効)	64.8	21.9	11.5	4.0	5.8	1.8	1.5	0.2
2012（平成24）年調査 (2009~2012年に解約・失効)	59.6	23.7	13.9	6.0	5.6	2.4	2.4	0.4
2009（平成21）年調査 (2006~2009年に解約・失効)	60.9	24.9	11.8	3.9	5.8	2.1	2.1	0.4

\*かんぽ生命を除く

#### (4) 解約・失効契約の加入目的

2018（平成30）年からの3年間に民保（かんぽ生命を除く）を解約・失効した世帯について、その加入目的をみると、「医療費や入院費のため」が53.0%（前回59.9%）と最も多くなっている。次いで「万一のときの家族の生活保障のため」50.6%（前回45.2%）、「災害・交通事故などにそなえて」9.7%（前回9.0%）の順となっている。（図表I-161）

〈図表 I - 161〉 解約・失効契約の加入目的（複数回答）

	医療費や入院費のため	万一のときの家族の生活保障のため	災害・交通事故などにそなえて	万一のときの葬式代のため	老後の生活資金のため	貯蓄のため	子どもの教育・結婚資金のため	万一のときのローン等の返済のため	介護費用のため	財産づくりのため	税金が安くなるので	土地・家屋の取得・増改築のため	相続および相続税の支払を考えて	その他	不明
2021（令和3）年調査 （2018～2021年に解約・失効）	53.0	50.6	9.7	9.4	7.7	7.3	7.0	2.9	2.7	2.7	1.2	1.0	0.2	3.6	0.0
2018（平成30）年調査 （2015～2018年に解約・失効）	59.9	45.2	9.0	13.4	7.1	5.4	5.4	3.0	2.2	1.6	1.4	0.3	0.5	3.0	0.3
2015（平成27）年調査 （2012～2015年に解約・失効）	57.7	45.6	8.0	8.4	7.5	8.0	6.4	2.9	2.2	1.3	2.9	0.2	0.4	5.1	1.3
2012（平成24）年調査 （2009～2012年に解約・失効）	55.6	46.6	9.6	7.8	6.8	5.6	10.6	2.8	2.0	2.0	1.6	0.6	0.2	3.6	0.4
2009（平成21）年調査 （2006～2009年に解約・失効）	49.1	52.6	10.3	8.8	7.9	6.2	9.0	2.4	2.1	0.7	0.7	0.4	0.9	4.9	0.4

\*かんぽ生命を除く

## (5) 解約・失効契約の解約返戻金の使途

2018（平成30）年からの3年間に民保（かんぽ生命を除く）を解約・失効した世帯について、その契約で受け取った解約返戻金（払戻金）の使途をみると、「生活費にあてた」が26.4%（前回24.8%）と最も多くなっている。次いで「預貯金に預け替えた」22.0%（前回21.5%）、「他の生命保険の掛金にあてた」11.9%（前回15.8%）の順となっている。（図表I-162）

〈図表 I - 162〉 解約・失効契約の解約返戻金の使途（複数回答）

	生活費にあてた	預貯金に預け替えた	他の生命保険の掛金にあてた	現金で保有した	住宅ローン等の返済にあてた	自動車や家電製品等耐久消費財の購入にあてた	損害保険商品や株式、投資信託、公社債等に預け替えた	その他	解約返戻金はなかった	不明
2021（令和3）年調査 （2018～2021年に解約・失効）	26.4	22.0	11.9	6.8	3.6	3.1	2.4	2.9	30.8	1.5
2018（平成30）年調査 （2015～2018年に解約・失効）	24.8	21.5	15.8	6.5	3.8	4.4	1.1	6.3	25.6	1.9
2015（平成27）年調査 （2012～2015年に解約・失効）	35.2	16.6	15.7	6.4	2.9	4.2	1.1	5.1	21.9	1.8
2012（平成24）年調査 （2009～2012年に解約・失効）	32.3	21.1	15.9	5.4	4.8	4.8	1.6	4.0	19.5	1.8
2009（平成21）年調査 （2006～2009年に解約・失効）	36.3	22.5	13.9	6.4	6.2	5.8	2.1	5.6	14.6	1.1

\* かんぽ生命を除く

## (6) 解約・失効の理由

2018（平成30）年からの3年間に民保（かんぽ生命を除く）を解約・失効した理由をみると、「他の生命保険に切り替えたので」が34.6%（前回33.0%）と最も多くなっている。次いで「掛金を支払う余裕がなくなったから」23.0%（前回31.9%）、「掛金が更新により高くなってしまったから」12.8%（前回14.4%）の順となっている。

前回と比較すると、「掛金を支払う余裕がなくなったから」が8.9ポイント減少している。（図表 I - 163）

〈図表 I - 163〉 解約・失効の理由（複数回答）

	他の生命保険に切り替えたので	掛金を支払う余裕がなくなったから	掛金が更新により高くなってしまったから	義理で入ったものなので	まとまったお金が必要となった	高額な保障が必要なくなったから	期間が長すぎるのでいやになった	少額すぎて生命保険として役に立たない	イメージしていた商品内容と異なるため	加入後のアフターサービスが不満だった	他に有利な貯蓄手段があった	離婚や子どもの独立など家族の構成が変わったから	経営内容が不安だったので	生命保険はインフレに対応できないと考える	その他	不明
2021(令和3)年調査 (2018～2021年に解約・失効)	34.6	23.0	12.8	11.9	9.9	8.0	4.6	3.6	3.4	2.4	1.7	1.7	1.5	0.7	9.2	1.5
2018(平成30)年調査 (2015～2018年に解約・失効)	33.0	31.9	14.4	10.4	11.2	7.6	3.3	3.0	3.0	2.7	1.9	3.0	0.8	0.8	10.4	1.9
2015(平成27)年調査 (2012～2015年に解約・失効)	31.4	33.6	13.1	7.7	8.0	6.0	0.9	3.3	2.0	3.3	2.0	3.3	1.8	0.0	7.7	2.4
2012(平成24)年調査 (2009～2012年に解約・失効)	34.1	32.5	13.3	11.4	10.6	7.4	3.6	3.0	2.4	4.4	1.2	1.6	2.0	0.6	7.4	2.0
2009(平成21)年調査 (2006～2009年に解約・失効)	25.3	37.6	12.0	13.7	13.9	5.6	4.7	1.9	2.8	4.1	1.7	2.6	2.2	1.5	9.7	1.5

\* かんぽ生命を除く

### (7) 切り替えた理由

2018（平成30）年からの3年間に民保（かんぽ生命を除く）を解約・失効した主な理由として「他の生命保険に切り替えたので」と回答した世帯に、切り替えた理由を尋ねたところ、「保障内容が現在の自分や自分の家族状況に合っていたから」が58.0%（前回60.3%）と最も多くなっている。次いで「掛金が安かったから」32.9%（前回35.5%）、「保障の範囲が広がったから」25.2%（前回28.9%）の順となっている。

前回と比較すると、「営業職員や代理店の人が熱心だったから」が5.9ポイント増加している。（図表 I - 164）

〈図表 I - 164〉 切り替えた理由（複数回答）

	保障内容が現在の自分や自分の家族状況に合っていたから	掛金が安かったから	保障の範囲が広がったから	営業職員や代理店の人が熱心だったから	営業職員や代理店の人の説明が優れていたから	営業職員や代理店の人が縁故者・知人だったから	配当金が多そうだったから	仕事上のつきあいや取引で頼まれたから	加入者へのサービスが良さそうだったから	会社（生命保険会社、郵便局、JA等）の経営内容が良かったから	その他	不明
2021(令和3)年調査 (2018~2021年に解約・失効)	58.0	32.9	25.2	8.4	7.7	7.0	4.2	2.8	2.1	2.1	4.2	0.0
2018(平成30)年調査 (2015~2018年に解約・失効)	60.3	35.5	28.9	2.5	9.1	8.3	2.5	1.7	3.3	1.7	6.6	0.0
2015(平成27)年調査 (2012~2015年に解約・失効)	59.2	39.4	23.9	5.6	7.0	13.4	3.5	1.4	2.8	2.1	7.0	0.7
2012(平成24)年調査 (2009~2012年に解約・失効)	70.2	36.3	19.3	5.3	5.8	11.1	4.7	3.5	7.0	2.3	5.3	0.0
2009(平成21)年調査 (2006~2009年に解約・失効)	59.3	37.0	19.3	9.6	5.9	10.4	3.7	3.0	3.0	4.4	6.7	2.2

\* かんぽ生命を除く